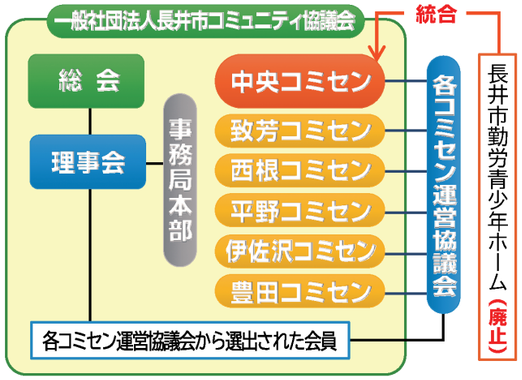
まちづくり ひとづくり
みなくぅ～る
第154号
発行／長井市中央コミュニティセンター運営協議会　編集／地域振興専門部
長井市屋城町6-53　TEL・FAX（0238）84-5869　E-mail:chuou-k@jan.ne.jp
（令和4年3月31日発行）

長井市の6つのコミセンが1つの法人になります



長井市の６地区のコミュニティセンターは、この４月から運営組織が１つの社団法人になります。

これは、人口減少が進む中でも、地域の拠点機能を維持し、地域ごとの特徴を活かした幅広い視野での地域づくりを目指すためです。引き続き、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

☆施設の使用方法が変わります!!

コミセンの法人化に伴い、昭和46年に設置された長井市勤労青少年ホームが廃止され、その機能は中央コミセンに統合されます。そして、施設の使用方法については、「長井市コミュニティセンター条例」の規定に段階的に統一されます。

４月から使用時間と休館日が変わります！

○使用時間は**９時～ 22時**になります。
（但し、日、火、祝日は17時まで。体育館・テニスコートは21時30分まで）
○休館日は12/29～1/3のみになり、**祝日も開館します**。

４月から申請書の様式が変わります！

○予約と支払いは使用日の3か月前から可能になります。

令和５年度から使用料金が変わります！

○青少年ホーム棟の和室、集会室、料理実習室、軽運動室、相談室、音楽室の使用料金が**令和５年度４月から**コミセンと同じ使用区分・料金になります。ただし、**令和４年度は移行期間とし料金の変更はありません。**
（全日使用の場合のみコミセン使用料と同じ料金になります）

ごあいさつ

中央コミュニティセンター運営協議会
会長　鈴木　要

今年は近年にない大雪に見舞われ、新型コロナウイルスの世界的な広まりも収束が見えず、自然の恐ろしさを感じる今日この頃です。

令和三年度も間もなく終わろうとしております。振り返ってみますと、コロナ禍が昨年同様各事業にも大きな影響をもたらす中、運営協議会の皆様方のご協力のもと、工夫を凝らして活動性の高い事業を進めてきました。それでも出来なかったことも多く有り、地域の皆様にご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

今後は、新規の事業に取り組むに当り、目的の方向性を見極めるため、検討を重ねて深く掘り下げていかなければならないと考えています。

現在も、感染力の強いオミクロン株が大流行をしています。事業の編成も考えつつ、当センターが持続可能で先進的な地域社会の向上の一助になれるように、最善の努力を重ねて参ります。今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

さて、中央地区公民館から中央コミセンに成り三年が経ちました。今年度までは、当運営協議会が指定管理者として運営を行って参りましたが、皆様もご存知の通り、令和四年度から、長井市の六地区のコミセンが一般社団法人として一つの組織になります。本部は、長井市地域づくり推進課内に設置されます。

組織変更に伴い戸惑うこともあるかと思いますが、一日も早く体制を整備し、地域向上のため努力を重ね、中央地区の可能性を伸ばせるような活動的なコミセンに作り上げていきたいと思います。市街地活性化の革新的なモデルに成る様に最善の力を注いでいくつもりです。

最後に、私事で大変恐縮では御座いますが、今年度限りで職務を辞する事に致しました。地域の皆様方はじめ、職員の方々には、長い間大変お世話になりました。温かいご理解とご指導、本当にありがとうございました。

一年を振り返って ～こんな時代だからこそ～

中央コミュニティセンター
館長　大竹　仁

今年度も、昨年度に引き続き、コロナ禍ではありましたが、関係者の皆様のご配慮や工夫、そして、参加者の皆様のご理解とご協力により事業を推進できたことに感謝申し上げます。

さて、この2年間、これまで行われてきた地域や学校の行事等がなくなりどんな思いをしているでしょうか。なくなってよかった、と思っている人もいるでしょう。しかし、多くの人は何となく寂しい、前のようにみんなで集まって賑やかにしたい、と思っているのではないでしょうか。

私は、「人は、人とのかかわりの中で生活している」と思っています。こんな時代だからこそ、地域とは、公民館とは、コミセンとは何のためにあるのかを改めて問い、「よりよい人とのかかわりや、よりよく生きるための場や組織」にしなければならないと考えます。

今年度、ご協力いただいた皆様に感謝するとともに、来年度こそは、晴れやかな気持ちで事業ができることを祈っております。

親と子の季節の体験事業　オリジナルクリスマスケーキ作り教室

12月12日（日）にクリスマスケーキ作り教室を行いました。感染対策を徹底し、少人数での開催となりましたが、親子で協力しながら思い思いのとっても美味しそうなケーキができあがりました。オリジナリティあふれるケーキを前に参加者のみなさんは満足気。和やかで楽しい会となりました。

CHRISTMAS CAKE

まちなかをあやめでいっぱいに！ ～あやめオーナーを募集します～

中央コミセンでは、街をあやめでいっぱいにするため、育ててくれるオーナーさんを募集しています。現在は長井小学校などを含む約70の団体、事業所、個人にご協力いただいています。あやめは多年草で毎年咲き、株を分けて増やしていくことができます。この機会に長井の花を育ててみませんか？興味のある方はお気軽にご連絡ください。

あやめ 花いっぱいプロジェクト 中央コミセン

お渡し時期：**5月上旬～下旬**
内容：**あやめ苗**（長井古種）、**育て方**（説明書）、**ステッカー**
※苗の種類は選べません。
※300円の協力金をお願いします。あやめ苗の購入に充てさせていただきます。
申し込み・問い合わせ：中央コミセン 電話：**84-5869** /メール→

編集後記

数年来の大雪に見舞われた冬が過ぎ、３月に入ると日増しに春の暖かさを感じるようになりました。地域の皆様には、日頃より中央コミセンの事業に対して、今年度も多方面にわたりご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。今年度最後の「みなくぅ～る」をお届け致します。

中央コミセンではこれからも、皆様と共に、楽しい活動や思い出に残る事業を行い、紹介していきたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。

中央コミュニティセンター運営協議会地域振興専門部　部長　横山 裕充

おうちで「やんちゃ放課後ひろば」

今年度は、コロナの影響でしばらく事業が休止となっていたため、昨年度に引き続き第２弾となる特別企画 おうちで「やんちゃ放課後ひろば」～お正月かざりを作ろう！～ を行いました。希望者に工作キットを配布し、自宅で親子で協力してお正月かざりを作ってもらう企画です。完成写真を送ってもらい、コーディネーターと職員の審査のもと選出された９点の優秀作品を紹介します。

最優秀賞

山上 華凛さん（６年）

・梅の花が立体的でとてもじょうずにできました。全体的に明るく、はなやかなできばえで、今年をよい１年にしたいと感じるすてきな作品となりました。

優秀賞（コミセン館長賞）

梅津 栄汰さん（６年）

・しめ縄がていねいにできていました。寅年らしい華やかなお正月かざりで素敵でした。

優秀賞

稲葉 実咲さん（1年）

飯澤 凜乃さん（２年）

伊藤 梨菜さん（２年）

鈴木 大河さん（３年）

梅津 すばるさん（３年）

北原 希桜さん（３年）

佐藤 璃空さん（３年）

写真を提供いただいた参加者全員の作品写真は、コミセンのHPからご覧いただけます。ぜひご覧ください。

やんちゃ放課後ひろば【１月会】～わなげであそぼう！～

1月19日（水）に今年度初めての放課後の活動を行いました。検温・体調チェック・道具の消毒など感染対策はバッチリ！久しぶりの活動に子どもたちは思いっきり体を動かして楽しんでいました。今年度もコロナがなかなか落ち着かず、1回の活動しかできませんでしたが、参加してくれたみなさん、ありがとうございました！

うちの地区ではこ～んな取り組みをしています！

わが地区の安全安心⑦

自主防災や河川・水路の美化など、地区で取り組んでいる「安全安心」についての活動を、リレー形式で紹介してもらいます。今回は中道です！

「継続して防災意識を高める」 中道地区長　梅津 和吉

「令和元年度の台風19号の際に避難勧告等を発令したにもかかわらず、長井市全体では避難された方が延べ637人程度だった」というデータがあります。この実態の受け止め方はさまざまですが、「大丈夫！自分の身には起こるはずがない」など、何とも妙な「思い込み」を私たちは心のどこかに持ち合わせているようです。だからこそ、毎年、訓練を実施して防災意識を高めていくことに大きな意義があります。

本地区の「自主防災組織」は平成23年11月に立ち上げられ、以来、研修内容や実施内容等を工夫しながら継続し、今日に至ります。コロナ禍にあっても中止したりすることなく、実施内容の精選や３密回避の工夫等に配慮して実施しています。また、本市には、日頃から積極的に防災訓練や研修などを行っている危機意識の高い地区の自主防災組織もあります。手本としつつ、今後とも地区民の防災意識や危機意識の高揚につながる活動を進めていきます。　（次回は金井神です）

防災講話に真剣に聞き入る（コロナ前）

消火器の操作は、①ピンを抜く、②ホースを向ける、③レバーを握るの手順で

交流センターふらり 関係団体役員研修会

中央コミセンと勤労青少年ホームに事務局を置く関係団体の役員が一堂に会し、研修を通して交流する正月恒例の行事を、今年も１月８日（土）に開催しました。

テーマは「長井市遊びと学びの交流施設（仮称）」についてどんな施設になるのかを市の担当者に伺いました

研修会では、現在建設が進められている公共複合施設について長井市の担当者より話をお聞きしました。子育て世代活動支援センターと図書館の機能を持ち、市街地活性化も担う施設ということで、どんな施設になるのか参加者の皆さんも興味津々の様子でした。講話の後には質問も多く出され、市長自ら対応する場面も。地域のみなさんの施設に対する期待の大きさを感じました。

講話「長井市遊びと学びの交流施設（仮）」について

研修会の様子

質問に答える内谷市長

新春を祝うつどい

招運来福！運だめし抽選会も開催！

コロナ禍での開催ということもあり、恒例の懇親会は今年も中止に。代わりに運だめし抽選会を行い、当選者には昨年のまち歩きで訪ねた商店街のお店の逸品をプレゼントしました。

運だめし抽選会

共育セミナー なかよしくらぶと

子育て支援サポートくらぶのあゆみ

平成11年度に入園前の親子を対象に農業体験や親子のふれあい体験等を行う「共育セミナーなかよしくらぶ」事業を開始しました。当時は35組(70名)の参加者があり、職員のみの力では大変だったこともあり、13年度から「子育て支援サポートくらぶ」としてボランティア団体を立ち上げました。

サポートくらぶの活動としては、なかよしくらぶの運営協力、夏・冬まつり交流会、市子育て支援センターの「うんどうかいごっこ」や「クリスマス会」など、子育て支援事業に協力していただきました。平成11年度から令和３年度までで、参加者数は455組、約920名となります。長い間たくさんの家族をそばで見守り支えてきた活動も、今年度でその役目を終え、長い歴史に幕を下ろすこととなりました。
活動を支えていただいたスタッフの声とともに、今年度で最後となる「共育セミナーなかよしくらぶ」の参加者の声を特集しました。

右みて！左みて！
横断歩道も元気に
わたります！

親子絵本タイム

何がいる？

20数年活動を続けてきた「共育セミナーなかよしくらぶ」が終了することは、サポーターとして活動に参加させてもらった私としては寂しい気持ちです。活動を通じて子ども達の成長をじかに見れるのも嬉しかったし、子ども達から元気をもらって活動を続けてこれたことは嬉しい思い出ですので、子ども達に感謝です。スタッフの皆様ともほっとな雰囲気で活動ができ、活動を通じて学ばせていただいたこともたくさんあり、これまた感謝です。今後も可能な範囲で子育て支援のお手伝いをできればと思います。事務局の方々、携わった皆様ご苦労様でございました。ありがとうございました。　洞口　タエ子

← 平成21年度には
こんなにたくさんの
参加者がいました！

私が、なかよしくらぶに参加させていただいて15年になりました。最初の子どもたちはもう高校生です。毎年新しくお迎えして1年間のお付き合いですが、確実に成長していく子ども達を通して、どんなにか日々の感動と喜び、楽しみを感じ取れたかと振り返ってみた時、感謝でいっぱいです。ママたちには、子育てはこれからが頑張りどころよ、とエールを送りたいです。これからも自分らしくをモットーにお互いに頑張っていきましょう。　平吹　京子

「男のまな板塾」からの縁でお手伝いするようになりました。「開講式」から「閉講式」までの各活動を通して子どもさん達のすばらしい成長に喜びと感動をもらいました。各事業に携わった事柄や時間よりもそれ以上の満足感とやりがいと楽しさを与えてくれるボランティア活動でした。大変有意義な事業でも社会の変化により参加者が少なくなると継続が困難になります。今後は新たな発想と時代に対応した子育ての事業をご期待致します。　鈴木　雄一郎

毎週木曜日のなかよしくらぶは、子ども達の笑顔に会えることが楽しみでした。初めはお母さんに抱っこして畑まで行っていた子ども達が、少しずつ自分で歩いて行けるようになってきたりと、子ども達の成長する姿を、お母さんと一緒に喜び合えることができて、私にとってはとても嬉しくハッピーな時間を過ごすことが出来ました。スタッフとしては7年間という短い期間ではありましたが、とても充実した時間でした。本当にありがとうございました。　梅津　智子

班長さんの感想

娘が初めて参加した時は１歳7カ月。どこまで参加できるかと、不安だったことを覚えています。今では名前を呼ばれれば手をあげ、出席シールを貼ったり、ファイルを返したりと沢山のことが自分でできるようになりました。温かく接してくださったスタッフの方々には、感謝しております。
１年間ありがとうございました。
仁科　香里

おには～そと～！

「共育セミナーなかよしくらぶ」は、保育園や幼稚園に通う前の段階にお友達とのルールや体験の場としてとても良い活動だと思います。畑作業で土に触れ、植えた苗が育ち収穫した野菜で楽しく食事をしたり、また、季節ごとの行事（笹巻作り、七夕、干し柿作り、ひな祭り）等の体験が楽しい思い出として残れば嬉しいです。近年の少子化や未満児の入園に伴い参加者も少なくなり今年度で終了するのは残念です。今まで長い間子ども達の成長を直に見させていただきありがとうございました。　小林　禮子

５月～翌年３月までの約10か月に渡り子ども達の様子を見てきました。始めは名前を呼ばれても恥ずかしくて手もあげられなかった子が、終りには声をだし返事ができるようになります。土をいじること、小さな生き物に触れること、育てた野菜を収穫し食べること、昔からの伝統行事を伝えることなど、一緒に楽しむことで成長の姿を見られることがこの事業に関わってきた喜びです。サポーターの一員として活動できたことは良い経験でした。
八木　賢二

平成10年に会社定年後、長井植物愛好会に参加している時、会長から公民館で親子登山を計画しているので、山の案内を頼むと言われたことが公民館担当者との出会いでした。その後子育て支援サポートくらぶを紹介され子どもが好きですから参加することにしました。（実は月山の県立自然博物園で森の幼稚園の経験がありました。）子育て支援では野外担当で、畑や自然観察会では五感を使う子どもの反応を見ていました。2才児の頃は知的、感覚、運動が発達するので、子ども達の動きを見ているととても可愛いです。子育て支援サポートくらぶには、20数年参加させていただきました。ありがとうございます。
〔子どもさんへ〕　令和２年、３年とコロナ禍で観察会が出来なく心残りです。子ども達の皆さんお元気で　バイバイ～　衣袋　輝二

なかよしくらぶの活動は、各家庭では体験できないことがたくさんあります。1年を通して活動していく中で子どもも大人も共に学び成長していきます。サポーターとして参加させていただいた私にとっても、とても楽しく有意義な体験ができました。とても大切な時間を過ごしました。地域のコミセンだからこそできる、素晴らしい事業のひとつだと思います。なかよしくらぶに参加した子ども達が大人になり、地域の担い手となってくれる日を心待ちにしています。　横山　千恵子

自分がお手伝いできるまで続けていこうと思っていましたが、参加者の減少に歯止めがきかず活動終了となってしまいました。週１回１時間の中でどんな活動をすると子ども達や親子が笑顔で過ごせるのか…。畑活動を通して野菜を育て食する食育体験、笹巻作りやおはぎ、干し柿、恵方巻作り等、季節ごとの伝統行事にも触れました。「なかよしくらぶ」が終了してしまうのは淋しいですが、夏まつりや冬まつり等、子ども達が集まるイベントに微力ながらお手伝いできたらうれしいです。今まで参加していただいた皆様、事務局の皆様ありがとうございました。また、サポートくらぶの皆様、ありがとうございました。**これからも私たちサポートくらぶの力を発揮し、頑張りましょう！**　早川　京子

中央コミセンスローガン 行ぐべ「ふらり」へ！ みんなでつぐっぺ長井のまち

地域振興領域

地域振興専門部　部長　横山　裕充

観光ボランティアや商店街と連携した「ふらり学講座」や「あやめ花いっぱいプロジェクト」を実施！

いま、今年度の地域振興専門部の活動を振り返ってみると、今年もコロナに左右された年になったと感じます。そのような状況にあっても、地域の皆様には多方面から協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

「あやめ花いっぱいプロジェクト」は、今年２年目を迎え、地域であやめを通した交流が生まれています。次年度も引き続き行いたいと思います。「ふらり学講座」では、昨年に続き、観光事業や商店街と連携したまち歩きを行いました。参加者の皆様からは継続を希望する意見が多く寄せられており、さらに内容を工夫して続けていきたいと思っています。

「関係団体役員研修会」は、今年も感染症に配慮しながら内容や規模などを検討しつつ実施しました。広報活動ではコミセンだより「みなくぅ～る」の年４回の発行に加え、ＷＥＢサイトやＳＮＳを活用した広報活動にも力を入れてきました。

活動にはそれぞれ課題もありますが、皆様方の協力のもと、次年度も進めていきたいと思っています。地域の皆様ありがとうございました。次年度もよろしくお願いします。

ふらり学講座
「商店街を歩こう♪」
やまいち松龍園にて

「あやめ花いっぱいプロジェクト」
百間通りであやめを育てる
あやめオーナーのみなさんと

安全安心領域

安全安心専門部　部長　伊藤　浩呉

河川清掃や交通安全の情報交換を実施、防災講座の開催、食の安全安心の観点から郷土料理のレシピ本も発行！

コロナ禍で自粛や抑制の生活が２年に渡り続いております。今年度の安全安心専門部事業も思うように運ばず、ジレンマに陥る時期もありましたが、４月には河川美化活動「ゴミショイワッショイ」へ部会で参加、昨年度からの継続事業である立哨を行っている団体との「児童生徒の交通安全の推進に係る情報交換会」は７月と12月に実施しました。

「知って得する家族と私の防災・減災術～大切な家族を守るために～」と題した防災減災講座では、県自主防災アドバイザーの細谷真紀子さんを講師に、『あらゆる防災復興施策に男女共同参画の視点が不可欠』『今日が災害前夜かもしれないので自助共助公助の視点で事前に備えることが必要』との講演をいただき、聴講者からは次回開催の要望が出るほど好評でした。昨年、全戸配布で地区の皆様にお配りした「暮らしの情報シート」を冷蔵庫などに掲示していただき、緊急時や災害の時にはご活用いただきたいと思います。また､コミセンだより｢みなくぅ～る｣に地区防災防犯に関する取り組みを地区長にリレー形式でご寄稿いただき継続しています。食の安全安心事業「畑の楽耕」には８家族が参加。自然体験や生活体験を通して、子どもたちは協調性・忍耐力・豊かな感性を野菜とともに育てました。また、３年の歳月を要してようやくレシピ本「次世代に残したい長井のおかず」が完成しました。皆様にご協力いただき、６事業を推進できましたこと、心から感謝申し上げます。

コロナ禍はコミセン事業の在り方を問うきっかけとなりました。コロナ禍にあってもコミセン事業の未来を見据え、創意工夫を行い皆様に喜んでいただける事業に取り組んで参ります。

「知って得する家族と私の
防災・減災術」
細谷真紀子さんの講話

長井市社会福祉協議会 令和4年度「ボランティア団体活動費補助金」のお知らせ

地域で子ども・高齢者または障がいのある方の居場所づくり・生活支援ボランティア活動を行う地域団体・ボランティア団体に対する活動費補助金を交付します。活動費（**上限４万円**）、備品購入費（**支出合計の3/4 ※上限２万円**）の助成となります。（**申込期限 令和４年５月31日**）
詳しくは**長井市社会福祉協議会（88−3711）**までお気軽にお問合せください

2年目を迎えたコロナ禍。活動が制限される中でも工夫を重ね、歩みを止めずにコミセン事業をリードした4人の専門部長に、この1年を振り返ってもらいました。

健康福祉領域

健康福祉専門部　部長　手塚　辰弥

「いきいき交流フェスタ」は開催方法をひと工夫し特別企画のまちなかウォークラリーとして大成功！

今年度もコロナ禍による大幅な活動制限で、従来行っていた行事ができなく大変残念でした。その中でも何か実施できないかと検討し、健康福祉部の恒例行事「いきいき交流フェスタ」が２年間実施できていないので、代わりとして「まちなかウォークラリー」を企画しました。当日は晴天にも恵まれ大変好評でした。参加賞に野菜などをもらい、参加者から喜ばれました。

今年に入ってからは「いきいき健康教室」で輪投げ、屋内グラウンドゴルフ、ダーツと、かみかみ百歳体操も企画し、密を避けるために定員を決めて募集を行ったところ、多くの申し込みをいただきましたが、オミクロン株の流行を受けて土壇場で中止となってしまいました。

今は三密に配慮し、工夫をして地域などで老若男女問わずコミュニケーションをとり、良い人間関係等を身に着けていくことが大事だと思います。それが地域の発展、活性化に繋がると思います。決まった範囲でしか動けず、ストレスもたまり心身ともによくありません。ぜひ適度な運動（百歳体操等）や読書など、お家の中でできることを日常の生活に取り入れて生活をしてください。

令和４年度からは市内のコミセンが全て法人組織として一本化されるわけですが、皆様の意見を聞きながら地域に根差した活動ができればと思います。

一刻も早くこの状況が終息し、落ち着いて活動できることを願っています。活動に協力いただいている地域の皆様に深く感謝し、ご健勝をお祈り申し上げます。

ゴール！
老若男女がウォーキングと
クイズを楽しんだ
「まちなかウォークラリー」

教育文化領域

教育文化専門部　部長　中井　俊彦

感染症対策を徹底し「ふらりまつり」を開催、中学生や高校生の参加と協力で充実した事業を展開！

振り返れば今年度もまたコロナ禍での幕開けとなり、事業計画の段階から「ウィズコロナ」という方向で向き合わざるを得ませんでした。おかげさまで教育文化部会では事業の中止に至ることなく、当初の計画通りの事業を行うことができました。

その中で、「星空教室」などの学習ひろば、「やんちゃ放課後ひろば」「夏休み学びと楽しみひろば」「親と子の季節の体験事業」「交流センターふらりまつり」など、子どもたちが参加する行事も多く、本来コミセンの意義からして広く多くの方に参加してほしいという思いとは裏腹に、会場の人数制限等から、どの範囲まで参加を呼びかけるのかという非常に悩ましい課題もありました。

また本年度は、「中学生のボランティア参加」への働きかけ、「高校生地域づくりプロジェクト」の成果発表という新しい試みも行い、地域の次代を担う若者たちの発掘と育成という観点から、たいへん有意義でした。この度の実績を足掛かりに、来年度につなげて参りたいと思います。

夏休み
「学びと楽しみひろば」
中学生ボランティアが
大活躍

「星空教室」では
いいで天文台で
木星や土星の環、
秋の星座を観測

中央コミセンではWEBサイトやSNSでも情報発信しています！

〈URL〉http://samidare.jp/nagai_ccc/

長井市中央コミュニティセンター　検索

Instagram　Facebook